令和７年度　和歌山市立宮前小学校　スクールプラン

和歌山市学校教育目標
- ○確かな学力の育成
- ○道徳教育の充実
- ○健やかな体の育成
- ○特別支援教育の充実
- ○不登校・いじめ問題の解消
- ○子どもの安全確保の徹底
- ○地域とともにある学校づくりの推進

保護者・地域の願い
○子供の学力を定着させてほしい
○仲良く明るく楽しい学校にしてほしい
○相手の気持ちがわかる子供に育ってほしい
○地域に誇りをもってほしい

【学　校　教　育　目　標】
健・心・知の育成

【めざす児童像】
- 何事も意欲的に取り組み、自ら考え行動できる子供
- 人権を尊重し主体的に行動する子供
- 明るく調和のとれた健康な子供
- 豊かな心で自然を愛し、情操豊かな子供

前年度の学校評価
○授業改善が進んでいるが、基礎的学力の定着をさらに行う必要がある
○学校の様子が保護者・地域等によくわかるようになってきた
○地域との連携について弱さがある

児童の実態
○あいさつができる
○時間を守り、静かに集団行動できる
○最後まで粘り強く取り組む力が弱い
○家庭学習の定着率がやや低い

	確かな学力の向上	豊かな心の育成	健やかな体の育成	地域とともにある学校
重点目標	◎基礎・基本の確かな定着 ◎子供主体の授業の推進 ○家庭学習の定着 ○読書活動の推進	◎人権・道徳教育の充実 ◎いじめの未然防止、早期発見 ○仲間づくりの実施	◎基本的生活習慣の確立 ◎体力向上の推進 ○危機回避能力の育成	◎家庭・地域との連携充実 ◎幼小、小中の接続連携の推進 ○地域の資源活用の推進
具体的な取組	○学びのルールと粘り強く考える学習習慣の定着を図り、主体的で対話的な深まりのある授業を目指す ○「和歌山の授業づくり基礎・基本３か条」を徹底させた授業を行う ○発達の段階に応じた家庭学習の手引きを作成し、「自学ノート」を活用するとともに、保護者と協力しながら定着を図る ○読み聞かせ、家庭読書、親子読書を推進する	○道徳科の授業展開を工夫・改善し、道徳性を養う ○いじめアンケートを年間に複数回実施し、いじめの未然防止・早期発見・早期対応に努める ○情報モラルやネット社会に潜む危険性について、保護者とともに学ぶ機会をもつ ○児童会の取組を積極的にするとともに学年集会、学級活動等で、子供同士が関わり・つながり合う機会を増やす	○「早寝、早起き、朝ごはん」を推奨する ○チャレンジランキングを活用する ○教師自らが進んでみんな遊び等に参加し、子供たちの運動量を確保し、能力の維持向上に努める。 ○地震や火災・津波・不審者対応の避難訓練や交通安全教室を計画的に行い、危機回避能力を育成する	○各種便り、HP等を通して積極的に学校の情報を発信するとともに、授業や行事等を積極的に公開する ○地区懇談会や教育講演会等を開催し、同和・人権に対する意識を高めるための啓発を行う ○幼小の接続、中学校区での小中の連携を推進･充実する ○授業のゲストティーチャー、読み聞かせボランティア、クラブ講師等の人材や、地域の自然・文化を積極的に活用する
指標	・県学習到達度調査の正答率が県平均を上回る ・わかる授業、子供主体の授業を実践したと思う（児童・教師90%）	・学校が楽しいと感じる（児童100%） ・人権学習や平和学習等含め「希望へのかけはし」の活用　100% ・いじめの解消率100%	・朝ごはんを食べた（児童100%） ・早寝・早起きを意識して取り組んだ（児童90%） ・積極的に運動を行うよう計画し、実践した（児童・教師90%）	・学校の様子がよく伝わった（保護者80%） ・幼小や小中接続、連携した取組を具体的に実践できた（教師90%）

◎・・・特に重点的に取り組むこと